

大内地域

大内まちづくり協議会

★活動の概要

大内まちづくり計画（５ヶ年）の実施３年目で今年度から始まる事業も順調に実施することが出来ました。

★交付金額

15, 203, 224 円

★地域の情報（地域づくり協議会単位）

地域人口	23, 346人
世帯数	9, 486 世帯
地域の キャッチフレーズ	ふるさとを愛し、笑顔 でふれあうまち大内

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 休耕田活用のための共同研究

休耕田の有効活用について、山口県立大学と共同研究契約を締結し、協議会に「休耕田等の有効活用に関する調査研究専門委員会」を設置しました。現状を調査するため、大内地区524戸の農家向けにアンケート調査を行いました。その結果、市民農園についての関心が高いということが明らかになり、平成26年度のモデル事業として、大内版市民農園「ふれあい農園」を開設します。

25年度内に耕作地の選定、参加者の募集等の事前準備は完了しましたので、26年4月下旬から耕作を開始します。



説明会

■ 大内史跡案内板整備

大内史跡マップを活用した史跡案内板整備計画の一環として、宮島町象頭山公園駐車場に大型看板を設置しました。地域の人々や観光客の皆さんに、大内の歴史や史跡を知ってもらうため、丁寧な解説がしてあります。

平成26年度以降も案内板を設置します。



除幕式

■ 大内まちづくり体制強化事業

自治(町内)会活動での課題とその解決策を考えるため、自治会長を対象に12月と2月にワークショップ形式の研修会を開催しました。

自治会の抱えている問題や悩みについて、真剣で活発な議論が展開され、参加者から問題解決の糸口がつかめたと好評でした。

今回の研修会で抽出した問題点で取り上げることのできなかったものについては、平成26年度に引き続き議論することになっています。



■ 防災対策の充実

平成23年度から防災資器材を順次整備してきましたが、25年度はメガホン、ストレッチャー、土砂に加え、大雨時に冠水しやすい家屋に土のうを配布しました。

これにより大雨における初期的な防災が可能となりました。また、地域の住民の方に防災対策を目に見える形で提供したことで、身近でできる防災について理解を深めてもらうことが出来ました。



大雨の時冠水しやすい家屋



山口市宮野地区地域づくり協議会

★活動の概要

「安心・安全な地域づくり」や「少子高齢化に対応した世代間交流」を中心に活動しました。今後は、協議会の広報の充実に取り込むこととしています。

★交付金額

11,896,896 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	15,175人
世帯数	6,595 世帯
地域の キャッチフレーズ	みんなに、やさしい、 のびゆくまちづくり

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 広報活動事業

念願の「ホームページ」を開設

地域の情報は、地区だより「みやの」や各種「チラシ」が主体でしたが、スマートフォンの普及や時代の流れと共に多様化してきました。

念願であったホームページを開設し、リアルタイムに地域情報の発信や入手が可能となりました。

併せて、スマートフォンでも情報入手できます。

地域の皆さんへ情報提供の充実をはかります。

URL <http://www.miyanoti.com/>



みやのをもっと知り 未来を想像する！！

山口市立大学生の協力によるデザインで、「過去・現代・未来」シリーズの第1弾！！

クリアファイルを作製し全児童・生徒と全戸に配布しました。昔 懐かしい風景です。



■ 防災対策事業

防災体験教室を開催

常日頃から、防災に係る意識を持続するため、小学生高学年の子ども達と地域住民で一泊二日の避難所体験を実施する予定でしたが、7月28日に阿東地域を襲った「豪雨災害」のため中止しました。

しかし、防災対策の継続は重要課題と考え、下関市消防防災学習館「火消鯨」でいろいろな災害の模擬体験を通し、防災についての学習、正しい災害知識や対処方法を身に付け、「もしも」の災害に備えることを学習しました。

防災意識を高めることは地域課題であることから、次年度は多くの関係者を巻き込んでの防災キャンプを実施します。



■ 世代間交流事業

三世代交流 『グラウンドゴルフ大会』

春がすぐそこまで来ている3月16日(日)

第2回ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催しました。子どもから高齢者まで56名の参加があり、暖かい日差しの中、個人戦・団体戦で熱い交流をはかりました。

「ホールインワンゲーム」では、参加者全員で盛り上がりました。



■ 健康推進事業

石州街道を制覇するぞ！！

自然とのふれあい、体力づくりと仲間との親睦を深めました。地域を縦断する「石州街道(旧道)」 今年はいよいよ7キロを小雨降る中、ウオークしました。

次回は、コースをのばして街道制覇に挑戦です！！
山陽道合流地点まで事業は継続！！



■ 木戸山公園整備事業

3ヶ年計画が完了しました！！

さくらの名所 木戸山公園を再生しました

地域の皆さんの憩いの場である公園に設置してあるベンチ10台が老朽化し危険な状況にあることから整備が望まれていました。平成23年度からベンチ修復を開始し、25年度で完成しました。

桜・ツツジ・シャクナゲ等々四季をとおして安心して楽しめる公園になりました。

観桜会で弁当を広げ、皆さんの親睦を深める場所を提供します。



【今後に向けての地域の思い、取組み】

第二期地域づくり計画を基本に、「安心・安全な地域づくり」や「福祉の充実した地域」をめざし、地域課題を解決する活動を展開していきます。

おおどのコミュニティ協議会

★活動の概要

一つ一つの視点を明確にしながら解決策を協議していく専門部会を中心に、現状に沿った課題解決の実践と創意工夫を行う活動に努めました。

★交付金額

7, 633, 405 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	7, 770人
世帯数	3, 889 世帯
地域の キャッチフレーズ	『住んでみたいまち 訪れたいまち 働くところのあるまち』

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 協議会組織運営(会議)の工夫

【運営委員会:毎月第1月曜日】

❖❖❖プロセスに視点をointed

「参加の場」「話し合いの場」❖❖❖

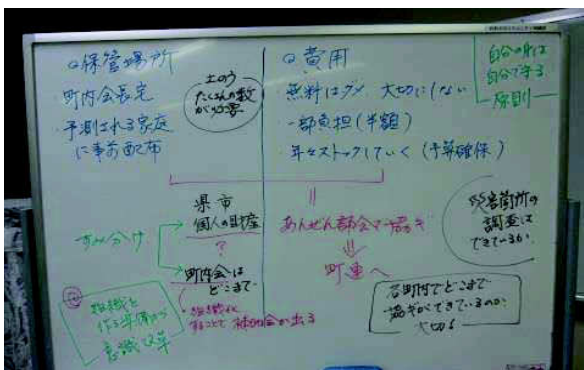
＜工夫のポイント＞

- ①会場レイアウト ②進行役の交代制
- ③グループ協議制 ④意見の「見える化」
- ⑤振り返りと繰り返し



運営委員会での様子..

お互いの情報交換もしっかり行います！



意見を書き出し「見える化」することで共有と整理ができるようになりました。✍✍

■ 次につながる！参画意識の工夫

【つながる大殿七タちょうちんの灯】

＜つながる大殿七タちょうちんの灯実行委員会＞

❖❖❖継続と参画に視点をointed

「参加してみたくなる！皆、楽しい！

次につながる！場」「地縁復活の場」❖❖❖

◆大殿七タちょうちんが...

大殿の各町内をつなぎます！

◆大殿軒先ちょうちんが...

大殿の各家々をつなぎます！

◆築山神社において...

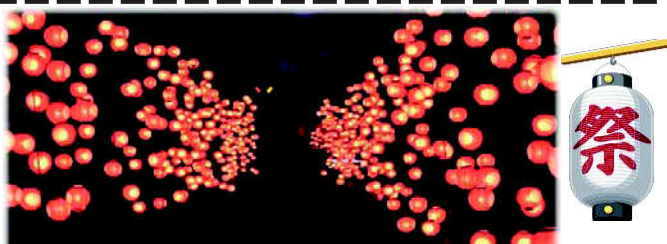
大内氏御霊「なごめ祭り」が行われ

◆八坂神社において...

厳肅な「火起こしの儀」を行い採火します。

◆参加した皆さんの手で...

大殿から山口全体の灯につながっていきます！



八坂神社の漆黒の闇の中に、人々の優しい想いとつながり合う美しい灯りがとまりました。



「皆でやる作業は楽しい～」と、4回にわたる作業日には、たくさんの協力者が集まりました。

■ 連携の工夫 <あんぜん部会>

【大殿地区安心安全のつどい】

❖❖❖3つの柱(交通・消防・防犯)に視点をおいた
「安全意識啓発の場」「体験の場」❖❖❖



『日々の安心安全な生活を守るために、いろいろな体験をしてみよう!』📢📢
大きな声で人に知らせる・消火器を正確に作動させる・防災意識を再認識する・セキュリティの実態を知る・など、体験を通して楽しく学びました。安全第一!!

■ 近住講師発掘の工夫 <にぎわい部会>

【オリジナル壁掛け時計づくり講座】

❖❖❖近住講師に視点をおいた
「発掘の場」「ものづくり体験の場」❖❖❖

地域にはたくさんの『名人』が住んでいる!
ものづくりをいろいろな観点からシリーズ化した講座の開催。今回は【オリジナル壁掛け時計】若きものづくり名人の指導でした。
出来上がった時計は家の中でどんな時を刻んでいるでしょうか。🎵🎵🎵



みんなの真剣な様子
アイデアがわき上がっているようです!



オリジナリティあふれる手
作り時計の完成!!

■ 交流の場の工夫 <やすらぎ部会>

【老いも若きもふるさと道中】

❖❖❖世代間のつながりを重視した
「交流の場」「健康づくりの場」❖❖❖

【大殿の史跡巡りウォーキング】🚶

十朋亭 サビエル記念聖堂 普門寺 山口大神宮
藩庁門 県政資料館 洞春寺 枕流亭 露山堂
瑠璃光寺五重塔 錦の御旗製作所跡



親世代・子世代・孫世代が一緒になって地域の史跡をめぐるウォーキング。ガイド役の興味深い話にふれ、地域への愛着とお互いの絆が深まった事業になりました。🐾🐾

『～心豊かに暮らし続けることのできる

まちづくり～』を目指して!

新たな組織体制が始まり、各団体や個人の意見が反映される「運営委員会」は、選出された約40名の委員によってスタートしました。

限られた人や限られた意見によってではなく一人ひとりが参画する意識を持ち、会議の中で自由な発想で、自由な意見が交換される雰囲気を感じられるようになってきました。

また、専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)では、事業の目的を明確にし、楽しみながら取り組める体制と、アンケートなどによる目標とする実績の積み上げも行ってきました。

組織として、着実な一步を踏み出した一年でした!

『継続は力なり・・・』





★活動の概要

地域づくりの主体となり、地域のさまざまな団体と連携し、地域課題の解決に向けて積極的に取り組みます。

★交付金額

7, 929, 513 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	10, 605人
世帯数	4, 756 世帯

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ JR周年記念イベント事業 (SL応援キャンペーン)

山口駅を地区の貴重な財産と位置づけ山口線の活性化に向けた取り組みを実施しました。

平成25年12月21日にはJR山口駅構内において「SL応援キャンペーンおもてなしイベント」を実施し、多くの白石地区の住民の皆さんが「SLクリスマス号」のお出迎えをしました。また、サンタクロースに扮した山口大学の女子学生さんがSLに乗車し乗客の皆さんに手作りクッキーやサンタの折り紙などをプレゼントしました。



クッキー作り教室



サンタの折り紙教室



地区の団体や住民の皆さんが、できるおもてなしをそれぞれ考え、協力し合い、地区をあげて心を込めた「おもてなし」をすることができました。

■ 自主防災組織モデル事業

自主防災組織の組織づくりについて支援しました。地区の住民方に防災の専門知識を身につけてもらい「防災士」の資格を取得していただくなどの人材育成に力を入れました。今後は白石地区の防災アドバイザーとして自主防災組織立ち上げの促進に携わっていただきます。



■ 減塩推進事業(男の料理教室)

塩分控えめの食生活を習慣づけるための減塩推進の一環で「男の料理教室」を開催しました。食べることを通して地区住民の皆さんと共に健康文化のまちづくりを目指しています。



■ ふるさとまつり参加促進事業

地区の代表的な祭りである山口祇園祭の参加者の増加を図るため、平成25年6月7日に山口県立大学の小川雅弘教授を講師に招き、「山口の祇園祭のルーツをたどる」をテーマに講演会を開催しました。

また、新たな御神輿の担ぎ手の募集に力を入れ、応募いただいた担ぎ手を対象に「サラシの巻き方教室」を開催しました。



今後に向けての地域の思い、取り組みなど
「地域づくりの主役は、白石地区の住民ひとりひとり」という基本理念を大切に住民同士で共に考え、協力し合い、「住んでいてよかった」と思える白石地区を目指します。